



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

# 江差の五月は江戸にもない

## 江差の五月は江戸にもない

— ニシンの繁栄が息づく町 —

江戸時代から明治時代にかけて、江差はニシン漁とその交易によって栄えた。

旧暦2月～3月ごろ（おおよそ今の3月～4月ごろ）にニシン漁をし、ニシンの加工品を求めて旧暦5月ごろ（おおよそ今の6月～7月ごろ）に本州から北前船がやってきた。

むかしの人はそのにぎわいの様を「江差の五月は江戸にもない」という言葉で表現した。

江差には今でもその繁栄が息づいていて、2017年4月に「江差の五月は江戸にもない — ニシンの繁栄が息づく町 —」として「日本遺産」の認定を受けた。

江差町日本遺産ストーリー周遊マップ

「松前屏風」(所蔵：函館市中央図書館)



一章

### 町並みに遺る繁栄

海岸線にそって細長く続く江差の町並み。その町並みを歩くと、ニシン漁と交易で栄えた江差の面影を体感することができる。姥神大神宮の創建は、江差にニシンをもたらした折居伝説で語られている。江差でニシン漁と交易が盛になると、本州各地から多くの人が移り住み、旧中村家住宅や江差姥神町横山家などの商家が建ち並び、暖簾や壁にその家の屋号を掲げる景観が生まれた。

#### 江差町・周遊のポイント！



**旧中村家住宅**  
近江商人の大橋家が設けた出店で、後に中村家へ譲られた。通りに面した主屋だけが店と住居で、残りの3棟は交易品などを保管する漆喰塗りの蔵。屋根には灰色の若狭瓦が葺かれている。



**旧榎山兩志都役所庁舎**  
明治20年(1887)に建てられた北海道庁の出先機関。洋風建築であるが、基礎には深い青色の笏谷石が、屋根には黒い能登瓦が用いられていて、ニシン交易の影響がうかがうことができる。



**姥神大神宮**  
「折居伝説」でニシンをまねいた姥が祀っていた神像を、江差の人々が皆で祀るようになったとの由緒を持つ神社。

クイズラリー A コース に対応



二章

### 伝わり、育んだ文化

ニシン加工品を求めて江差にやってきた北前船の乗組員は江差に様々な文化をもたらした。もともと中山道追分宿（長野県軽井沢市）で唄われていた馬子唄が、陸路や海路を経て江差に伝わり、江差の風土に合う民謡江差追分となった。姥神大神宮の祭礼姥神大神宮渡御祭では、ニシンの豊漁を願い、人々は神輿と山車を繰り出す。ニシン漁の熱気あふれる姿は、民俗芸能江差沖揚音頭として今日にまで伝わっている。

#### 江差町・周遊のポイント！



**江差追分分館・江差山車会館**  
民謡「江差追分」をはじめ郷土芸能などを鑑賞できるスポット。また姥神大神宮渡御祭で実際に町を巡行する「山車」を見学することも可能。



**江差追分**  
江戸時代に信州・中山道で唄われた馬子唄をルーツとする民謡。江差ではケリウウ節と追分節が融合し独特の音調を持つ節になったと伝わる。



**姥神大神宮渡御祭**  
ニシンの豊漁を神に感謝する祭りで、江戸時代から伝わる姥神大神宮の祭礼。豪華な13台の山車(ヤマ)が、流暢な祇園囃子の調べによって町内を繰り歩く。

クイズラリー B コース に対応



三章

### 繁栄を生んだ島

江差の沖に浮かぶかもめ島。伝説に登場する折居様は、この島で神様から瓶を授かって江差にニシンをもたらした。その瓶は岩と化して瓶子岩になり江差のシンボルとなっている。折居様がもたらしたニシンを求めて多くの北前船が江差へやってきた。それらの船は北前船係船柱及び同跡に帆を下した。北前船の乗組員は、かもめ島にある厳島神社にお参りして航海安全を祈った。

#### 江差町・周遊のポイント！



**かもめ島の階段跡**  
かもめ島の島上にある厳島神社へ参るための階段。ニシン交易船の乗員が航海安全を願うため、江戸時代から設けられていた。



**江差商人の宴席跡**  
かもめ島の西側に広がる「千畳敷」に掘られた8つの柱穴。ニシン交易で利益を上げた江差商人は、この地に仮小屋を建てて宴を催していた。



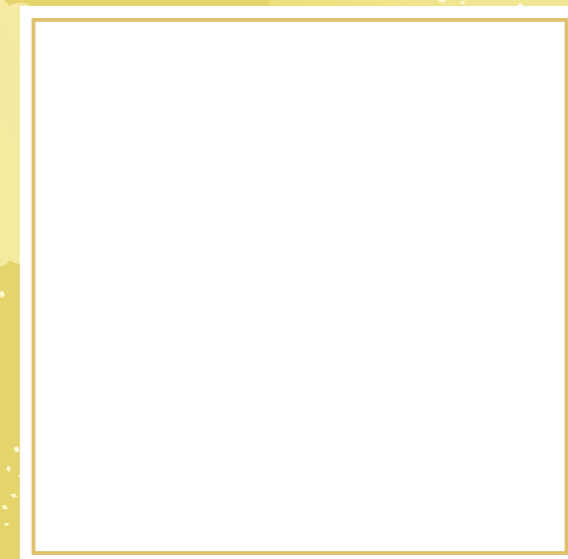
**厳島神社の手水石**  
江差商人の村上家と取引をしていたニシン交易船関係者が寄進をした手水石(ちょうずいし)。安政6年(1859)年の建造。

クイズラリー C コース に対応

江差 いにしえ スタンプラリー

3つのコースを回って  
3つのスタンプを重ね押しすると  
ある絵が浮かび出てきます。

重ね押し スタンプ  
を完成させよう!



#### スタンプ設置場所

- 1 旧榎山兩志都役所庁舎
- 2 江差追分分館・江差山車会館
- 3 開陽丸青少年センター記念館

— いにしえの町をより深く知る —  
江差町ガイドツアー



お問い合わせ

江差町観光まちづくり協議会  
(江差町役場 追分観光課)

〒043-8560  
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地1

TEL : 0139-52-6716  
FAX : 0139-52-5666

## 江差の 豆知識

### 江差の町並みの屋号

江戸時代から江差の町並みに建つ商家の暖簾や壁にはその家の屋号が掲げられていました。そんな屋号を探しながら散歩してみましょう！



### 「えさし」の漢字はどう書くの？

「えさし」という地名は江戸時代から使われていますが、その漢字は「江差」「江指」「江刺」などの文字が当てられていました。「江差」という漢字だけを使うようになったのは明治時代からです。



### 「なまら」？ それとも「うだで」？

テレビで北海道出身のタレントさんが北海道弁を話すことがあります。よく形容詞の「とても」という意味の方言で「なまら」という言葉を使いますが、江差では「うだで」を使います。津軽地方と同じ方言です。たとえば、写真のニシン漬けを食べて美味しかった時は、「うだで、めー！」(とても美味しい！)と尝试してみましょう！



**Information** 入館料や休館日をチェック！

**A 旧檜山爾志郡役所庁舎 (江差町郷土資料館)**  
 開館時間 9:00~17:00  
 入館料 大人300円、小中高100円(15名以上の団体は、大人270円/小中高90円)  
 休館日 4月~10月/無休、11月~3月/月曜・祝日の翌日が休館、年末年始

**B 旧中村家住宅**  
 開館時間 9:00~17:00  
 入館料 大人300円、小中高100円(15名以上の団体は、大人270円/小中高90円)  
 休館日 4月~10月/無休、11月~3月/月曜・祝日の翌日が休館、年末年始

**C 江差追分会館・江差山車会館**  
 開館時間 9:00~17:00  
 入館料 大人500円、小中高250円(15名以上の団体は、大人450円/小中高250円)  
 休館日 4月~10月/無休、11月~3月/月曜・祝日の翌日が休館、年末年始

**D 開陽丸青少年センター・記念館**  
 開館時間 9:00~17:00  
 入館料 大人500円、小中高250円(15名以上の団体は、大人450円/小中高250円)  
 休館日 4月~10月/無休、11月~3月/月曜・祝日の翌日が休館(祝日が月曜日の場合、翌日と翌々日が休館)、年末年始

クイズに回答すると、抽選で江差町の日本遺産にまつわる特産品をプレゼント！

# 江差 いにしえ クイズラリー

参加無料 参加対象者 10歳以上推奨 参加時間 1コース 30分~60分

クイズラリーの各コースは、この周遊マップの「一章」「二章」「三章」に連動しています。

**A コース** <キーワード> いにしえ街道  
 ガイダンス施設: 江差町会所会館, 旧檜山爾志郡役所庁舎(江差町郷土資料館), 旧中村家住宅, 姥神大神宮, 江差姥神町横山家

**B コース** <キーワード> 江差追分と山車  
 ガイダンス施設: 江差追分会館・江差山車会館  
 Bコースは 江差追分会館・江差山車会館の中を回ろう！

**C コース** <キーワード> かもめ島  
 ガイダンス施設: 開陽丸青少年センター・記念館, 瓶子岩, 北前船係船柱及び同跡, かもめ島の階段跡, 江差商人の宴席跡, 厳島神社・石鳥居・手水石

**A賞** 全問正解者 江差産海産物詰合せ 3口(15,000円相当)  
**B賞** 全問回答者 江差産海産物特産品詰合せ 5口(10,000円相当)  
**C賞** 全問回答者 にしんそばセット 10口(2,000円相当)

江差に来たら、ニシンを食べよう！ 開陽丸記念館にてレンタル中  
 ニシン料理提供店はこちら レンタサイクル情報はこちら

## 江差の 無形民俗文化財

江差追分、姥神大神宮渡御祭をはじめ、江差町にはニシン漁で繁栄した当時の文化を今に伝える貴重な無形民俗文化財が数多く存在しています。



えさしおきあげおんど  
**江差沖揚音頭**  
 ニシン漁業に従事する人々によって唄われた作業唄。水揚げから網起こし、汲み出し、子叩き、納屋入れまでニシン漁の作業ごとに唄があるのが特徴です。



えさしさきめおどり  
**江差鮫踊り**  
 ニシン漁の妨げになるため処分した鮫の骨を慰めるために、鮫がのたうちまわる様子を踊りにしたものです。盃盆中供養として五勝手地区に伝承されています。



えさしおいわけ  
**江差追分**  
 江戸時代に信州・中山道で唄われた馬子唄をルーツとする民謡。江差ではケンリョウ節と追分節が融合し独特の音調を持つ節になったと伝わっています。



えさしおいわけおどり  
**江差追分踊り**  
 民謡を題材にした踊りで、古くは海辺のアイヌが唄を歌い、山のメノコが熊祭の振りやこれに合わせて踊ったのが始まりといわれています。



えさしさんさがり  
**江差三下り**  
 江差追分が完成する過程の元唄とされる民謡。浜小屋や茶屋で歌われ、女等(あやこ)によって座敷唄となり、三絃の三下り調子として完成しました。



うぼみだいじんぐうときよさい  
**姥神大神宮渡御祭**  
 ニシンの豊漁を神に感謝する祭りで、江戸時代から伝わる姥神大神宮の祭礼。豪華な13台の山車(ヤマ)が、流暢な祇園囃子の調べによって町内を練り歩きます。



えさしもちつきばやし  
**江差餅つき囃子**  
 緑起のいい唄ではじまる餅つき囃子は、笛や太鼓、唄に合わせて若い衆が十数人で仕草もおもしろい餅をつくというユーモアにあふれた伝統芸能です。